

## インドネシア防衛大学海外学習プログラムでオンライン講義を行いました（2022/6/15）

テーマ：コミュニティ防災、レジリエンス、持続可能な社会  
会場：オンライン

2022年6月15日に、インドネシア防衛大学が開催した海外学習プログラムにて、泉貴子准教授（国際防災戦略研究分野）が「レジリエンス構築と持続可能な社会」と題して、災害マネジメントを専門とする大学院生を対象としたオンライン講義（75分）および参加者との質疑応答・議論（75分）を行いました。泉准教授は、現在の自然災害の発生状況と特徴、仙台防災枠組達成の進捗状況、マレーシアで現在実施している JICA 草の根によるコミュニティ防災プロジェクトなどに関して講義をしました。

質疑応答の時間では、学生から多くの質問が寄せられ、「日本には、インドネシアにあるような災害伝承はあるのか」「多様なリスクに対応するために、防災への取り組みで我々が今後強化しなければいけない点は何か」「アフリカなど貧困などの課題と向き合っている国々では、防災への関心は低い。貧困は災害被害を拡大させる原因となるが、貧困問題と防災をどのように結び付けて国レベルで防災を強化していくべきか」「プロジェクトの持続可能性を高めるためには何が必要か」「プロジェクトの評価の基準設定や最適な実施方法は何か」について、学生からのインドネシアや他国での経験も交え、学生と大変活発な議論ができました。

参加した学生や教員の中には、APRU マルチハザードウェビナーシリーズに参加している方も多く、東北の復興や日本の防災対策を学ぶために、東北地域や東北の震災遺構を訪問したいと強く希望していました。

文責：泉貴子（国際防災戦略研究分野）

